
ヒノモト革命

志鷲辰駆@紅茶えす

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ヒノモト革命

【Nコード】

N9780S

【作者名】

志鷲辰駆@紅茶えす

【あらすじ】

震災という試練を受けたヒノモトを憂うパラレルストーリーです

私、龍中羅鎖たつなからさと申します

遺憾ながら、我がヒノモトは、自主党の長期政権によって腐敗してきました

私は、ヒノモトの腐敗を憂い、売れない作家から、急遽政治家への転身を決意したのです

とはいえ、政治のことなど、全くわからないド素人

熱意だけで選挙活動を始めた私を見出してくださったのが、神無男人かんなおとという民政党議員の方でございました

そして、ついに我ら民政党は、過半数を超える議席を獲得政権を奪取したのです

私も神無先生の後押しをいただき、国会議員として当選できました
まだまだ右も左もわからない新米でございます

2

国民の支持率は過去最高を記録
新政権に国民は期待してくださいました

しかし、腐りきったヒノモトを正すのは、一朝一夕にはできないことなのです

遅々として達成できない公約

国民の不信と不安は高まり、内閣支持率は低下の一途

期待が大きかった分、結果を焦る気持ちもわかります
でも皆様、マスコミのバッシングを鵜呑みにしないでください
ここで民政党が政権を失い、自主党へと政権が戻ってしまつては、まさしく元の木阿弥。ヒノモトは再び腐敗の一途をたどるのです

さてさて、民政党からの首相は、あまりの重圧から次々と辞職
続いて、神無先生が首相となられました

バッシングに耐えながらも

「改革のため、一歩ずつでも前に進んでおります

今の現状ではなく、任期を終え、結果が出るまで支持をお願いし
たい」

神無先生の国会答弁でした

誰がどう言おうと、私は信じます

だがここで、ヒノモトに更なる試練、未曾有の大震災が襲いかか
りました

死者は過去最高、さらに原子力発電所が地震と津波の影響により
破損

放射能漏れが発生し、ヒノモトの原発安全神話が崩れ去りました

「国民の安全を第一に、諸外国の援助を受けて、原発の凍結を実行
しましょう！」

「私も龍中君の意見に賛成だ」

私の意見に真っ先に同意を示したのは、神無首相でした

しかし、最終的に、私の訴えは聞き入れられませんでした

原発は、大量の税金を投入して作られた施設なのです

凍結となれば、管轄地域の電力不足も確実

そして、凍結反対勢力の中心となったのが、電力会社の天下り軍
団だったのです

ヒノモトを食い物にし、私腹を肥やし続けてきた諸悪の根源

しかも、震災の発生は何年も前から予測されており、

耐震・津波対策をすべきという専門家たちの意見を無視し続けた結果が、

この惨状を招いたので

愚痴とも言えますが、元々、自党政権が生んだ天下りによる腐敗の招いたこと

現政権を持つ民政党が非難されるのは納得がいきません

私はなんと無力なのだろうか

「まだ我々にはできることがあるはずだ」

落ち込む私に手を差し伸べたのは、神無首相でした

私などは比喩物にならない重圧の中、ずいぶんとやつれられたそれでもまだ諦めてはいけない

投げ出してはいけないのです

「敢えて、もう一度訴えます」

ここで民政党が政権を失い、自党へと政権が戻ってしまったのは、まさしく元の木阿弥。ヒノモトは再び腐敗の一途をたどるので

どうか、国民一丸となって、民政党政権を支えてください

必ず、ヒノモトは『日の昇る国』として再生できるのですから
!

本作はフィクションであり、実在の国家・人物・団体とは一切関係ありません

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9780s/>

ヒノモト革命

2011年10月9日00時39分発行